

« 建物被害 »

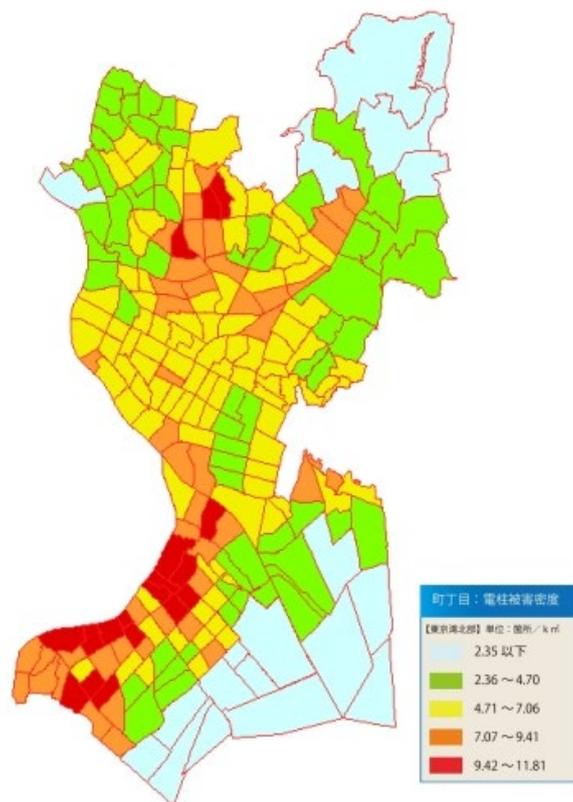
地震による揺れの大きい地域や、建物が密集している東西線沿線や地盤が軟弱な大柏川・国分川付近の地域などにおいて、建物被害が多く予想されます。

建物の倒壊による被害は、人的被害に直接結びつくものであり、また、そういった地域で火災が発生した場合、大規模な延焼火災につながる恐れがあります。

<図の見方>

この図は建物被害の密度を表したものであり、「1ha当たり何棟被害が発生したか」というもの。また、被害は半壊又は全壊の棟数。

(市域図中の実線は町丁目境)



※この想定結果は、一定の条件において計算された結果であり、実際に地震が発生した場合、必ずしも同様の結果になるとは限りません。